社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）函館林業土木協会

活動内容	国有林に通じるカリマ川林道をボランティアで整備

1　実施年月日　：　平成２９年６月２９日
2　実施場所　　：　北海道亀田郡七飯町　カリマ国有林
　　渡島森林管理署管内　カリマ川林道
3　参加会員数　：　２５企業及び事務局　　４５人
　　渡島森林管理署
4　活動内容　　：

渡島森林管理署が管理するカリマ国有林は、珍名山としても有名な貧乏山（５０１ｍ）の周辺に位置しています。貧乏山の由来は、昔、厳しい気象により樹木も良く育たず金にならない山であったために、こう呼ばれるようになったと言われていますが、森林管理署が大正時代から営々と森林整備に努めてきたことにより、利用期に達した立派な人工林が大半を占める「宝の山」へと生まれ変わっていました。

ところが、平成１６年９月８日、当地に最接近した台風１８号の猛烈な風により、大きな風倒被害を受けて、一夜にして無残な姿に変貌してしまいました。

その後、森林管理署による復旧事業に加えて、多くの市民や企業・団体、高校生等がボランティアによる森林再生のための植樹活動（当協会の会員企業も参加）を行い、高等学校２校は、現在でも大型バスを利用して現地を訪れ、先輩達が植えた樹木の保育（下刈り・つる切等）を継続し、その成長を見守っています。

最近、現場へ通じるカリマ川林道では、横断溝等が閉塞して、流水による路面浸食が顕著になっていることから、大型バスでも安全に走行できるように、ボランティアで横断溝等の整備を行うこととしました。

当日は、協会関係者４５人と、当地を管理する渡島森林管理署からも参加を頂きました。好天に恵まれた中、開会式では、渡辺会長から活動の趣旨の説明と安全作業の徹底を要請した後、森林管理署の鈴木次長から感謝の御挨拶と作業上の留意点等の御指導を頂き、早速３班に分かれて延長７ｋｍの林道の横断溝等の整備に取り掛かりました。

作業は、錆び付いたボルトの取り外しや堅く締まった土砂の掘り上げに苦労しながら、横断溝９箇所、簡易横断溝２２箇所の整備を終えました。

台風シーズンまでに横断溝の整備ができたことから、安全で快適な車両走行に大きく役立つものと考えています。当協会は、今後とも国有林野事業には様々な取組で協力していく考えです。

なお、この活動の模様は、地元建設新聞にも掲載されました。

活動写真

開会式の様子

当協会の渡辺会長の挨拶

森林管理署鈴木次長の御挨拶

埋没して機能を失った横断溝

土砂で閉塞した横断溝

詰まった土砂の堀り上げ作業

土砂の堀り上げ完了

グレーチングを再設置

整備が終わった横断溝

簡易横断溝（シスイエース）の整備